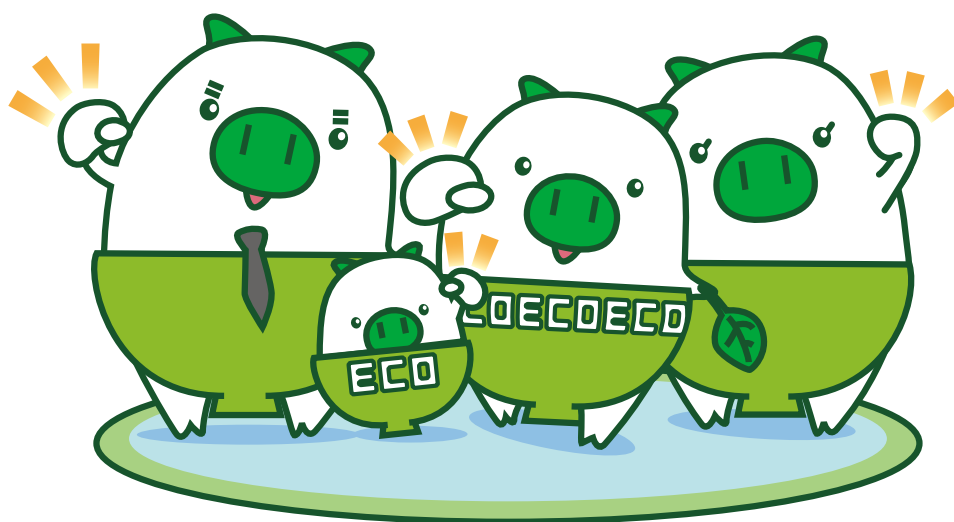


減CO2クラブ

環境家計簿を使ったエコライフのすすめ



福岡県地球温暖化防止活動推進センター

(環境家計簿学習会 説明スライド)

CONTENTS

- 特集1 : パートナースhipで取り組む低炭素社会づくり
- 特集2 : 福岡県の適応策の取組(高温に強い品種の開発)
- 事業報告 : エコ講座(環境家計簿学習会)の開催!
- 活動報告 : 地球温暖化防止活動推進員が様々な活動を展開中!
- D A T A : エコトンの福岡県減CO2(げんこつ)度チェック!
- お知らせ1 : エコファミリー、エコ事業所優秀賞表彰!
- お知らせ2 : 地球温暖化対策の国民運動「COOL CHOICE」
- お知らせ3 : エコファミリー募集中!



パートナーシップで取り組む低炭素社会づくり - 賢く選んで未来をつくる -

環境省 九州環境パートナーシップオフィス
コーディネーター 澤 克彦

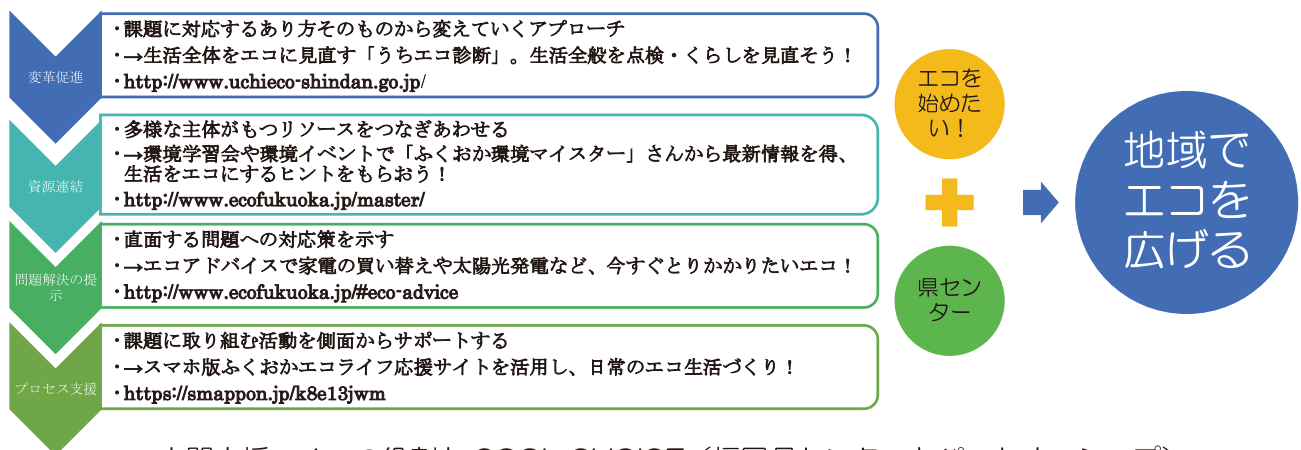


環境省では、国民運動「COOL CHOICE」を掲げ、一人ひとりのライフスタイルに応じた、未来のための活動づくり、消費生活の低炭素シフトについて取組を進めています。（<https://funtoshare.env.go.jp/coolchoice/activity.html>）

「地球温暖化」に代表される気候変動に対して、私たちが日ごろの暮らしの中でできることは限られています。また、一人ひとりの力や個々の組織でできることにも限界があります。

そこで、パートナーシップを促進させる「中間支援者」の視点から、「COOL CHOICE」をさらに推進する工夫について考えてみたいと思います。

中間支援とは、多様な主体の間に立って、さまざまな資源をつないだり、ヒントを提案したりするものです。下図は、福岡県地球温暖化防止活動推進センター（以下、県センター）の取組をもとにその役割を整理したものです。



中間支援 4つの役割と COOL CHOICE（福岡県センターとパートナーシップ）

こうしてみると、県センターには実に充実した、生活をエコにする情報やアイディアが集約されています。それは、一人ひとりの取組をつなぎあわせ、地域ならではの自然や社会の営みをもとに、メッセージ力のある「COOL CHOICE」を推し進める中継者（ターミナル）としての役割と言えます。

また、温暖化防止・気候変動への対応という大きな目標をいきなり突きつけるのではなく、ちょっとしたエコから始めたい時に、暮らしの中で賢く選んでより良い未来をつくる選択肢やそのヒントを提供する地域に根差した役割があります。まずは「福岡県地球温暖化防止活動推進センター」をお気に入りに登録することから「COOL CHOICE」を始めてはいかがでしょうか。

さらに、県センターの役割を広げて考えてみましょう。これだけ充実した情報提供とネットワークの機能をもった県センターでありながら、その取組が十分に伝わっていないようです。もっと地域から頼られる存在になる工夫の余地がありそうです。また、県センターをみなさんのパートナーとして、地域でエコ活動を一緒に取り組むことでその力を発揮してもらえそうです。買い物をするときによく吟味し、エコなものを買うように、地域の環境活動づくりを一緒に取り組む仲間として県センターを選んでみてはいかがでしょうか！

最後に、EPO 九州（<http://www.epo-kyushu.jp>）では、様々な環境活動や環境政策の情報を提供するとともに、協働で持続可能な地域づくりに取り組む活動を応援しています。是非、メールマガジンにご登録いただき、持続可能な九州・沖縄について関心を高めてもらいたいと思います。





福岡県の適応策の取組（高温に強い品種の開発）

福岡県農林水産部 農林水産政策課

近年、気候変動による農業への影響が懸念されています。特に、稲作や果樹では高温による品質低下の事例が報告されています。

ここでは、地球温暖化等の気候変動に対する適応策について、福岡県が取り組んでいる高温に強い農作物の品種の開発状況について紹介します。

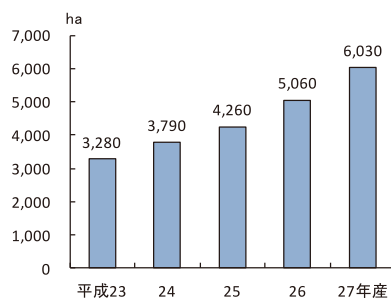
夏季の高温により、水稻では米粒の中心が白い未熟な米となったり、ぶどうでは着色が遅れたりする等の品質低下が発生します。

福岡県農林業総合試験場では、夏季の高温に強くて、食味が良く、つやと粘りがある水稻「元気つくし」を開発するなど、県産農産物の競争力強化につながる県独自品種の開発に取り組んでいます。

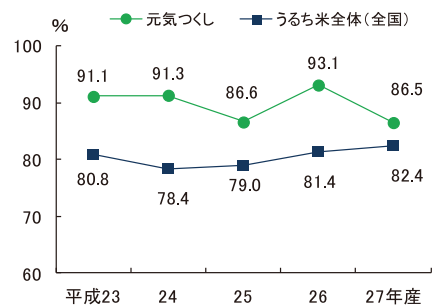
平成 20 年に開発した「元気つくし」は、（一社）日本穀物検定協会が毎年実施する、全国の産地品種銘柄食味試験「米の食味ランキング」において、4 年（平成 23 年産～26 年産）連続して最高評価の「特A」を取得し、おいしいお米として高く評価され、県を代表する水稻品種となりました。



福岡県産米 元気つくし



「元気つくし」の作付面積
(水田農業振興課調べ)



一等米比率※
(農林水産省「米穀の農産物検査結果」)

また、平成 27 年 8 月には、新たに水稻「実（みの）りつくし」を開発し、平成 28 年産から栽培が始まりました。「実りつくし」は、外観品質に優れ、食味が良い水稻で、夏季の高温条件下でも、米粒の中心が白くなる未熟な米の発生が少ない特長を持っています。また、水稻の主要品種「ヒノヒカリ」に比べ、10%程度収量が多く、収穫時期は1週間程度遅いため、作業ピークが分散されます。今後、「元気つくし」と同様に、県内での普及を図ります。

さらに、果樹では、平成 27 年 6 月に新たにマスカット香のする黒色のぶどうを開発しました。粒は「巨峰」に比べるとやや小さめですが、夏季の高温条件下でも着色が良く、糖度は「巨峰」と同程度です。需要が高まる8月上中旬からの出荷が可能となるため、これまでの品種との出荷時期が分散されます。平成 29 年から苗木の販売が始まる予定です。

今後も、県農林業総合試験場では、夏季の高温に強い品種を開発し、県産農産物の競争力の強化に努めます。

※ 一等米比率：各都道府県産米などで一等米が占める割合



新たに開発した
黒色ぶどう



エコ講座（環境家計簿学習会）の開催！

環境省（地域における地球温暖化防止活動促進事業）

福岡県では、環境家計簿を使ってエコライフを実践するエコファミリーを募集しています。

今年度はその環境家計簿の普及を図るべく、県民のみなさんを対象にエコ講座（環境家計簿学習会）を県内各地で実施しています。エコ講座の講師は主に地球温暖化防止活動推進員です。これまでに地元の老人会や婦人サークルなどで21回実施しました。

エコ講座の開催状況（11月末現在）

| 地域 | 実施件数 | 今後の予定 |
|---------|------|-------|
| 北九州・京築 | 1 | 0 |
| 福岡・筑紫 | 4 | 1 |
| 宗像・遠賀 | 7 | 1 |
| 筑豊 | 5 | 1 |
| 久留米・北筑後 | 2 | 0 |
| 大牟田・南筑後 | 2 | 1 |
| 計 | 21 | 4 |



環境家計簿のグラフ作成の説明

福岡県センターでは講師経験の少ない推進員を対象に、講師経験のある推進員・環境マイスターによる講習会や練習会を企画し、県内6地域でそれぞれ開催しました。推進員の中には、福岡県センターが作成した説明用パワーポイントのほかに、オリジナル教材を使って説明される方もいます。

講習会や練習会では、普段は見る事ができない他の推進員の講演の様子を見たり、自分の講演について他の推進員からアドバイスをもらったり、お互いに刺激になったのではないかと思います。

エコ講座を受けられた方からは、「日頃の省エネへの取組を振り返る機会になった」、「省エネ意識が高まった」、「こんな講座があるとは知らなかった」、「機会があれば他の集まりでもやりたい」等のご意見を頂いております。

福岡県センターでは、家庭部門の二酸化炭素排出削減に向けて、今後もエコ講座を実施していきます。老人会や町内会の講座のひとつとして、PTAの研修のひとつとして、サークルの一行事として、エコ講座を受けてみませんか。お問合せは福岡県地球温暖化防止活動推進センター（092-674-2360）までご連絡ください。



オリジナル教材で説明（北筑後地域）

環境家計簿を使ったエコライフのすすめ



説明用パワーポイント資料



地球温暖化防止活動推進員が様々な活動を展開中！



大木町推進員 益田 隆一氏（エコアドバイザー）

大木町は、「次世代の子どもたちにツケを残さないこと」をまちづくりの目標におき、住民協働を進めながら、地域資源を最大限活用して、無駄のない暮らしの中にも新たな豊かさを実感できる地域づくりを目指しています。環境の分野では全国的にも有名になり、全国各地から視察等でお越し頂いております。昨年には環境先進国のドイツからの視察もあり、とても意義ある交流を深めることができました。

大木町の推進員として毎年、町内の保育園、幼稚園、さらには学童保育所でエコ出前講座を行っております。幼少のころから、エコを意識してもらい、実行にうつしてもらえよう、そして「大木町はこんなにエコな町だよ。」ということを知りやすく子供たちに説明しています。今ではおおき循環センター「くるるん」のイメージキャラクター「くるっち」もエコ出前講座に登場し、子どもたちも大変よろこんでいます。

大木町では、ゴミを分別して燃えるゴミを減らすことを競う「ごみゼロコンテスト」を毎年行っており、各家庭でゴミ減量の取組を行うことができるという楽しみがあります。優秀賞者になると、コンテスト期間中、一日の燃えるゴミの量が一人当たり 10 グラム以下というレベルの高い大会になっています。

今後は、小学校でも環境教育を積極的に取り組んでもらえるよう活動していきます。そして、エコを生活の中で常に意識してもらえよう、大木町の推進員として努力、精進していきます。



古賀市推進員 吉見 一郎氏（うちエコ診断士）

推進員活動は、地方自治体および温防センターと連携して活動することが最も大切だと考えています。

古賀市では市民の省エネ・節電意識の向上を図るため「うちエコ診断」を実施しています。平成 35 年度までに 500 世帯の受診を達成することが目標であり、これまでに延べ 125 世帯の市民が「うちエコ診断」を受診しました。

古賀市と連携して活動するため、毎年、事業計画について協議を行っております。平成 28 年度も一般家庭向けに様々な取組を実施することとなり、推進員として市主催の「市民向けエコ講座」や「環境家計簿学習会」等で講師を務め、このとき 11 月に開催する「古賀市うちエコ診断会」の受診をお勧めしました。また、「まつり古賀」でも広く市民に「うちエコ診断」を知ってもらうため、「簡易診断会」開催を提案し実施することになりました。

「うちエコ診断」は、専用ソフトで家庭のライフスタイルに合わせた光熱費削減とCO₂削減を提案するものです。診断直後のアンケートでは「自分の生活の振り返りが出来て良かった」と好評です。また、受診者から「公民館で開催したら気楽に受診できる」との提案を受け、今後、公民館と連携した診断会を古賀市と企画することになっています。





こんなときは、地元の推進員もしくは福岡県センターにご相談下さい！

- 地球温暖化の情報が知りたい ■ エコ出前講座を開きたい ■ 具体的なエコ活動を知りたい
- 環境家計簿の使い方を知りたい ■ エコファミリーに登録したい etc

県内の6地域の推進員から地域活動の現状を報告いただきました。

北九州・京築地域

行橋市推進員 2 年目の田中です。県環境事務所や市環境課の協力をいただき地域イベントへの参加、保育園での出前講座等を行っております。保育園では、エコトン着ぐるみが登場すると「豚さん」と園児には大人気。保護者の方に「食べ残しはダメ。」と早速お話していました。今後も各機関のご協力のもと活動を継続していきます。



犀川保育所（みやこ町）



田中千鶴 推進員

福岡・筑紫地域

地域イベント（市民まつり等）で、パネルクイズを通して市民の皆様へ地球温暖化の現状を認識していただくような活動を中心に行っております。また関心を持った市民の方々には、エコファミリーに登録していただき、実践を勧めております。“何事も小さな一歩からをモットーに”を銘として！



糸島市民まつり（糸島市）



宮澤 篤 推進員

宗像・遠賀地域

宇美町推進員をお受けして、研修会に参加したり、資料を読んだりしていくうちに「このままでは50年後、100年後に生活する人たちに申し訳ない！」という思いで活動しています。昨年11月より町との連携の一つとして“宇美町エコトーク”の題目で、町の広報誌に隔月ですが寄稿しています。省エネ・節電運動が県民運動であることの意義の更なる周知を図りたいと思います。



宇美町エコトーク9月号



竹吉栄隆 推進員

久留米・北筑後地域

任期一年目は、町内の成人や子供向けの講座に、環境マスターやエコアドバイザーの方にお越しいただきました。二年目は、自分も講師が出来ないかと勉強中で、最近は町内のアンビシャス広場で環境講座をさせていただきました。今後も、皆さんと協働出来ればと考えています。いろんな所へ出掛けていきたいと思います。



パネルシアターの実践練習



宮崎 誠 推進員

筑豊地域

香春町の職員と一緒に、未来を担う子どもたちを対象に、エコ出前講座に取り組んでいます。町内には6つの保育所等があり、今年で3度目の講座となります。また、夏休みには学童クラブで、地元キャラクター「カッキー君」と一緒にゲームやクイズをして、楽しくエコについて考えてもらう取組も行っています。



採銅所学童クラブ（香春町）



鬼塚やよい 推進員

大牟田・南筑後地域

秋晴れの中、筑後市主催の「健康と食育の祭典 with 環境フェスタ」が11月13日に開催されました。2011年度から県環境事務所と協働で温暖化防止クイズ等を実施しています。今年は総勢スタッフ5名で、参加者が集中していた時間帯もそれぞれ臨機応変に対応し、温暖化防止の啓発に努めました。



環境フェスタ in ちくご



矢加部茂晴 推進員

■ 推進員の方へのご連絡は、市町村の環境担当部署、福岡県地球温暖化防止活動推進センター（TEL092-674-2360）へお問い合わせください。



福岡県内でエコ活動に取り組む家庭や事業所の数は徐々に増えてきています。

| 減CO2度指標項目 | H23年度 | H24年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 (H23年度比) |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|-------------------|
| エコファミリー登録者数 (世帯) | 14,324 | 15,191 | 15,806 | 16,215 | 20,112 (1.40) |
| エコ事業所登録数 (事業所) | 1,793 | 1,985 | 2,866 | 3,141 | 3,255 (1.82) |
| EA21 認証・登録事業者数 (事業所) | 353 | 413 | 469 | 484 | 478 (1.35) |

お知らせ1

エコファミリー、エコ事業所優秀賞表彰！



福岡県では、環境に配慮した生活や事業活動に取り組む「エコファミリー」と「エコ事業所」を募集しています。このたび平成27年度の実績結果を基に審査が行われ、他の模範となる取組がなされた世帯・グループと事業所が優秀賞に選定されました。各受賞者には、平成28年11月25日に表彰状と副賞が授与されました。



■エコファミリー、エコ事業所優秀賞受賞者の皆様

エコファミリー受賞者

※敬称略

(1) 世帯部門

- 第3ステージで世帯人員・住居形態ごとに、二酸化炭素排出量が最も少ない世帯

1人：(戸建) 非公表 (集合) 松原 京子
 2人：(戸建) 非公表 (集合) 田中 香代子
 3人：(戸建) 平尾 睦美 (集合) 山崎 加代子
 4人：(戸建) 金色 恵子 (集合) 北岡 和子
 5人以上(戸建) 中道 加代子 (集合) 該当なし

(2) ステージ部門

- 各ステージで電気使用量に係る二酸化炭素排出量削減率が最も大きい世帯

第1ステージ：灘谷 辰生 第1ステージ：電気
 第2ステージ：田中 昭生 第2ステージ：上記+ガス、水道
 第3ステージ：河野 加代子 第3ステージ：上記+ガス、軽油、灯油、可燃ゴミ

(3) グループ部門

- グループで取り組む団体のうち、取組結果の報告世帯数が多いグループ
 葉山ヘルスケア・省エネ共和国、生長の家福岡県教化部、エフコープ家計簿サークル、宗像市役所

エコ事業所受賞者

(1) 電気使用量の削減に向けた取組部門

最優秀賞：株式会社北翁(行橋市)
 優秀賞：西部ガス株式会社総合研究所(福岡市)
 優秀賞：福岡総合開発株式会社(朝倉市)

(2) 自動車燃料使用量の削減に向けた取組部門

最優秀賞：株式会社アルパ工業(福智町)
 優秀賞：有限会社英興建設(柳川市)

(3) その他の地球にやさしい活動部門

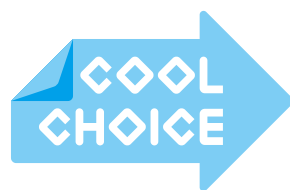
最優秀賞：株式会社西日本光創(福岡市)
 優秀賞：久留米市立江南保育園(久留米市)
 優秀賞：株式会社コミブラ(福岡市)

地球温暖化対策の国民運動「COOL CHOICE」

今年 11 月に地球温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」が発効されました。我が国は 2030 年度に温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 26%削減するという約束草案の目標を掲げています。この目標を達成するため、これからはより実効性のある温暖化対策を講じていかなければなりません。

こうした中、政府（環境省）からは地球温暖化対策の旗印として「COOL CHOICE」が打ち出されました。これは、省エネ・低炭素の製品・サービス・行動などの温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動のことです。例えば、エコカーを買う、省エネ住宅を建てる、高効率の照明に替える、公共交通機関を利用する、クールビズ・ウォームビズなどのライフスタイルを実践するなどがあります。

福岡県センターでは「COOL CHOICE」を県民の皆さんに知っていただくために、様々な主体と連携してイベント等で紹介しております。まずは、「COOL CHOICE」への賛同登録から始めてみませんか。



未来のために、いま選ぼう。

エコファミリー募集中！



福岡県では、地球温暖化の観点から家庭における CO₂ 排出量の削減（電気、ガス、水道、ガソリン使用量等の削減）に取り組む「エコファミリー」を募集しています。

- ・エコファミリーに登録すると、「エコファミリー応援パスポート」が送られてきます。協賛店でパスポートを提示すると、割引や無料サービス等の特典を受けることができます。
- ・半期毎（上半期：4月～9月、下半期：10月～翌年3月）に家庭での取組結果を報告していただくと、協賛店で使用できるエコチケット（金券）を抽選で進呈します。
- ・また、電気使用量の検針票の夏期分（7月～9月）、冬期分（12月～翌年2月）を報告していただくと、抽選で九州エコライフポイントや協賛企業賞を進呈します。
- ・詳しくは下記問い合わせ先、またはふくおかエコライフ応援サイトをご覧ください。



【問い合わせ】福岡県環境保全課 ☎ 092-643-3356

ふくおかエコライフ応援サイト

検索